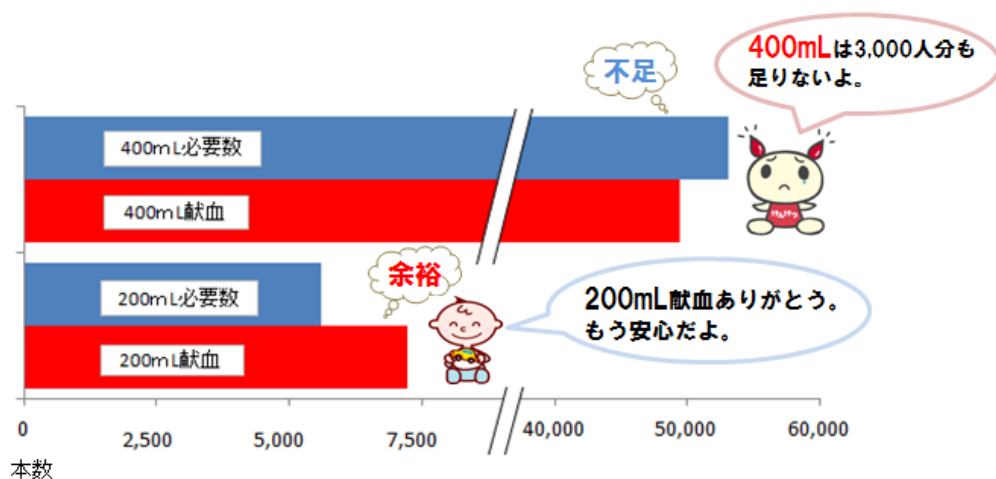


ありがとうございます！200mL 献血は十分確保できています。



200mL の献血製剤は、小児などの一部患者さんが必要としていますが、今まで多くの皆さま方にご協力いただいた献血で十分な状態になっています。 ご協力感謝します。

厚生労働省では、400mL 採血ができない若い年代の方に対し将来の献血基盤となっていくため「初めて献血 200mL」の推進を行っています。

今、男性の方は17歳から400mL 献血をお願いできるようになっています。

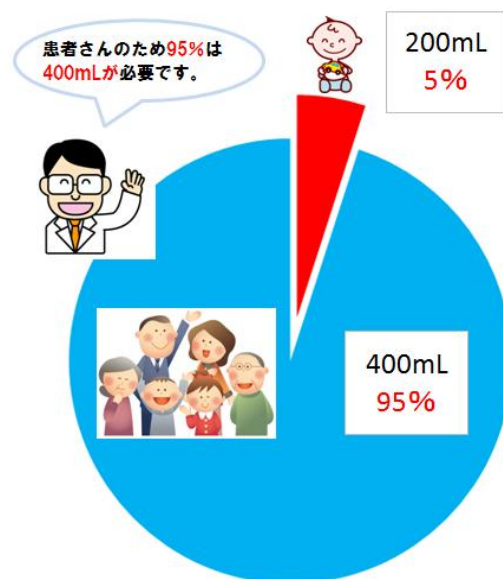
400mL 献血！ 依然不足！

特に大量の輸血を必要とする心臓手術や移植手術など殆どの方は、400mL の血液が必要とされていますが、今のところ必要量に対しまだまだ確保できていないのが現状です。

皆さま方の中で400mL 献血にご協力いただける方がいらっしゃいましたら、是非ご協力ください。

今後とも、献血の良きサポーターとして、献血の普及にご協力お願いいたします。

患者さんが必要とする血液の割合



ありがとうございます！血しょう献血は十分確保できています。

血しょう成分献血は、大半が医薬品の原料となり、患者さんの治療に使用されていますが、今まで皆さんからいただいた血しょう成分献血で十分な在庫を持つことができます。

血しょう成分はいろいろな成分に分けることで、長期間にわたり保存することが出来ます。血友病の患者さんなどに必要な医薬品の原料は、十分確保することが出来ています。



有効期限がわずか4日間の血小板成分献血は毎日必要です！

以前は不治の病とされていた白血病、再生不良性貧血等の患者さんに行われている高度な医療は、この血小板成分献血で支えられています。

採血時間は血しょう成分献血より長くかかってしまいますが、毎日の献血が必要です。

岡山市北区表町の献血ルーム、岡山市北区いずみ町の血液センターで成分献血をお願いしています。